



令和6年度

御狩場小学校グランドデザイン

- ◇第3次狭山市教育振興基本計画
基本理念「夢をかなえ 人をつくる 狭山の教育」
- ◇令和6年度狭山市教育行政の取組と重点
- ◇狭山市立小・中学校における働き方改革基本方針

学校教育目標

【 自ら学ぶ子 仲よくする子 たくましい子 】
かしこく なかよく たくましく

地域と共にある 学校づくりの推進

- ◇家庭との連携
 - PTAとの連携
- ◇関係機関との連携
 - 公的機関、医療等

◇地域との連携

- 学校評議会との連携
- 見守り・交通指導員との連携
- 学習ボランティアとの連携
- 読み聞かせボランティアとの連携
- おやじの会との連携

目指す姿



目指す学校像

やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ 互いに成長できる御狩場小！
 ～ 自己肯定感を高める学校 ～

目指す教師像

- 進んで研修・研鑽に励み、指導力を向上させることができる教師（**かしこく**）
 - 児童や保護者の意思を理解し、伝わる言葉で深い信頼関係を築くことができる教師（**なかよく**）
 - 自分の心身の状態を把握し、ともに健康で、前向きさと信念をもって指導ができる教師（**たくましく**）
- ～ 教師は子供にとって一番の教育環境である ～

目指す児童像



- **かしこく**・・・「確かな学力」
進んで学ぼうとする児童
学んだことを活かそう・使おうとする児童
- **なかよく**・・・「豊かな人間性」
友達を思いやり「やさしい言葉」で接することができる児童
集団での学びや友達の学び・感情を考えて行動することができる児童
学校生活における様々な場面で自ら考えて行動し、感動・感激できる児童
- **たくましく**・・・「健やかな体」
元気に前向きに過ごすことができる児童
困難な場面でも、粘り強く最後まで対応しようと努力し続ける児童

目指す家庭像

- 児童の成果や努力した過程を褒めることができ、夢や目標を応援できる家庭（**かしこく**）
- 社会的マナーを教え、社会性を培うことができる家庭（**なかよく**）
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを確立し、健康づくりができる家庭（**たくましく**）

学校経営方針

「 自己肯定感を高める学校にするために（気づいて・褒めて・見届けて） 」

- 授業・学校行事を含めた教育活動全体を通じて、自己肯定感や自己有用感を高め、生きる力の育成を図っていく。
- これからの社会を見据え、自分の夢や目標を定め、それに向かって前向きに努力し続ける児童を育てていく。

3つの「あ」の実践

- **あ**いさつ（挨拶のできる学校）
- **あ**んぜん（安心・安全な学校）
- **あ**とかたづけ（きれいな学校）

経営方針

確かな学力と自立する力の育成

- 主体的・対話的に学ぶ力の育成
- 基礎・基本の確実な定着を目指した授業の充実
- 各種学力調査結果等を踏まえた学習状況の把握と改善策の立案・実践
- 特別支援教育の充実
- 学校研究『よりよい学級生活をつくらうとする児童の育成（特別活動）』の推進
- 活気と潤いのある教育環境の整備
- 安全指導の充実、清掃活動の充実、掲示教育の充実



豊かな心と健やかな体の育成

- 「やさしい言葉」の意識化、「やさしい言葉」の常態化の推進
- いじめを許さない学校の実現（人権教育の推進）
- 愛校心（『御狩場小でよかった！』）・ふるさと意識の醸成
- 体力の向上と健康増進、読書の推進
- 相手に伝わる挨拶の励行

開かれた学校づくりの推進

- 「みかりば日記」やHP等を活用した情報提供
- 学校公開日を活用した保護者・地域との連携
- 幼稚園・保育所（園）、学区の小・中学校との連携

- ★ 「狭山市学力向上“茶レンジ・プラン”を踏まえた教育活動
- ★ 狭山市立御狩場小学校における働き方改革の推進
- ★ 学校だからこそできる教育の推進